



# 会報

## WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファー E. ジョーンズ  
 第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ  
 会長/木戸辰浩  
 副会長/福田和彦  
 幹事/及川悟

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3051回 例会報告

2022.10.28

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
 ●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
 ●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
 TEL 0155-25-7347

#### 帯広北RCゴルフ同好会

会長 柴田 隆視

すっかり冬が近くまで来ているような季節になりました。ゴルフ同好会の今年度例会は、国際と十勝あわせて11回開催し、10月22日で無事終了することができました。

皆さんの楽しみの納会を平和園本店で行い、会員20名と音更RC周年事業を終えて木戸会長と及川幹事が参加して焼肉を食べながら盛大に懇親を深めました。

昨年から行っています年間総合優勝には若林元会員が輝き、拍手より皆さんからは「RCに復帰を」の声のほうが多かったようです。当日今年度国際CCクラブチャンピオンに輝きました高田義久会員に、柴田会長と会員一同から記念品(高級パター)が贈られました。

コロナ禍の中多数の参加ありがとうございました。冬期間体力を落とさないように過ごしていただき、次年度もまた楽しいゴルフ同好会にしましょう。



#### 【第3051回例会】

■点鐘 木戸 辰浩 会長

■ロータリーソング (我等の生業)

■ゲスト紹介

・浦幌神社 宮司 背古 宗敬 様

■会長挨拶 木戸 辰浩 会長

皆様こんにちは、先週は音更RCの周年事業があり、参加された方は本当に大変ご苦労様でございます。

また、今週24日にはポリオデーが今回2500地区と2510地区の合同開催ということで公共イメージとしてラジオ放送を全道の皆様にロータリーはもちろんポリオの根絶のための活動をですね知ってもらうことを目的として実施したところでございます。あの無事終わってですね。皆さんもラジオで聞いたかと思えます。

さて、今月は米山月間ということで米山記念奨学事業の目的を先週お話ししましたが今日はカウンセラー制度と世話クラブ制度についてお話しをちょっとしたいなと思えます。

あの前回も言ったんだけど規模の大きさ民間最大の理由として奨学金による経済的な支援ではなく、ロータリークラブ独自の制度ということになっております。

また、あの世話クラブとは全国に34地区あります。まあそのうち一つのクラブが一人の世話クラブになっております。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席しロータリー

● 会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めると共にロータリーの奉仕の心を学ぶということになっております。

● また、カウンセラーとは奨学生一人に対し世話クラブのロータリアンの中から一人がカウンセラーとなり奨学生の個人的ケアに当たりアドバイザーとかすることになっております。

● また、奨学生とロータリアンの交流は財産になるということになっております。

● 私もですね2回カウンセラー経験しております。まあ、昔はですね10年ぐらい前のカウンセラーはホームステイだとか色々なことがあって、なかなかあのやる人がなくてですね難しい形になっておりました。

● 昨今ではホームステイもなくなってですね、日本の文化をカウンセラーになった人は日本の文化を伝えて、梯いとかね、そういうものになっている今現在でございます。

● 今、北クラブからですね萩原会員が2年目の奨学生を見てですね。来年3月には卒業になると思えます。

● また、それが終わるとですね一年もしくは2年空いてまた、オファーが来ると思えます。

● ぜひ会員の皆様も一度はあのカウンセラーやってですね経験をしてほしいなと思えます。

● また、あの米山についてはですね。あの皆様に、おそらくもうお手元に届いています。毎年のように豆辞典、皆さんに配られます。それに本当に詳しく書いてありますんで、皆さんでちょっと少しでも見てもらえればいいのかなと思えます。現在、2500地区には9名の奨学生、また34地区で一番最下位となっております。ちなみに、隣の地区は17名の奨学生を見ているみたいです。まあ、あの全部で奨学生があの日本全国ですね、今現在853人の生徒を見ている形になっております。まあ、皆さんも詳しいことはですね。豆辞典をぜひご覧になってですね。少しでも理解を深めてくれればなと思えます以上で会長挨拶致します。

■会務報告 及川 悟 幹事

明日フードバレーマラソンのボランティアスタッフを登録していただいた皆様、非常に早朝寒いです

● しっかり防寒対策を整えて参加して頂きますようお願い致します。

■ニコニコボックスの発表 福田 和彦 副会長

● 本日は健康情報委員会卓話 よろしくお願いたします。

● ご無沙汰しています。 高田 勝基 会員

● お久しぶりです。 松岡 真勝 会員

● 北クラブ、ゴルフ最終戦優勝しました。福ちゃんゴメン！ 河西 健一 会員

● 石割 昭浩 会員

● 帯広市産業経済功労者を受賞しました。 柴田 隆視 会員

● 文化科学大臣表彰を受ける事ができました。来月10日の表彰式に出席してきます。 松本 建春 会員

● お見舞い有難うございました。先週1週間ほど札幌の病院に入院してきました。早期発見で3度目のがん手術も内視鏡手術により復活して戻ってきました。早期発見・早期治療！皆様方

● も年2回位は健康診断を受けましょう。 関口 亘 会員



## ■プログラム

高田 勝基 健康情報委員長

## 【暮らしの中にある神道の教え】



・浦幌神社 宮司 背古 宗敬 様  
ただいま高田先生より紹介いただきました。浦幌神社宮司 背古宗敬と申します。

貴重なお時間をいただきまして、講演を頂けるということで大変僣越に思っております。高田先生とはですね。浦幌町で公私ともどもお世話になっております。帯広の夜にもいつもお誘いいただき、美味しいものをごちそうしていただいて、今回もですね。ええ、美味しいものをごちそうしていただいた後にこのオファーがありまして、断り切れずに非常に僣越ですが、ご講演をさせていただきます。で、私はあの子供とかですね、高校生にはこういう講演したことがあったんですけども経営者の皆さんでの前で講演するというのは実は初めてでございます。大変今緊張しております。聞きお聞き苦しいとございますけれども、よろしくお願いをしたいと思います。

ええ、それである公演に入る前にちょっと緊張をほぐす為にええ私、神主やっております、いろいろ皆さんから質問を受けます。で一番多い質問にちょっとお答えをしたいと思います。まずですね。一番よくある質問ですけども、まあ、神社にお金をお包みして収める時に何て書いたらいいんですか？という質問を受けます、お答えはですね、玉串料と書いていただくと、すべてそれで大丈夫です。でまあ、ご丁寧に書きますと本御礼の御ですね。御玉串料っていう風に書いていただくのが正しいです。で今、お米が収穫されまして、この時期からお正月とかにかけましては、御初穂料っていう書き方も神社で受け付けています。初穂料というの昔はですね、お米を神社にお供えをしていたという歴史がありまして、その代わりのお米と言うので今時期ですと御初穂料という風に書いていただいても結構でございます。でよくあの神道さんですね。お葬式神式のお葬式の場合には何て書いたらいいですか？と言う。まあ、これが一番多いんですけども、これも玉串料で結構です。でその後の忌中引きですね。神道では帰化祭というお祭りなんですけども、その時も玉串料と書いて頂ければ結構です。迷ったら玉串料とかけばすべて通りますので、おぼえておいて頂ければと思います。あとですね、神社にお供えするものですね。お神酒とかお菓子とか、そういうときはどういう風に書いたらいいんですか？とお聞きするんですけども、そういうときはですね。お酒の前は御神酒と書いていただいても結構です。他の物でも奉献、奉納の奉に献ずるですね。奉献という言葉また奉納ですね、そういうふう書いてあとお供えっていうのもね、こういうのもいいですね。特にこれがダメっていうのはありませんので、そういう風に書いてお供えをしていただければと思います。

あとよく聞かれるんですけど、神主さんになるにはどういう風にしたらなれるんですか？っていうのを聞くんですけども、先ほど及川幹事さん早速その質問を受けましてですね。神主になるにはですね大学がふたつあるんですけども、一つは私の母校であります三重県の皇学館大学こちらに神道学科っていうのがありまして、そちらを卒業すると資格がもらえます。もう一つは國學院大学こちらにも神道学科がございまして、そちらを卒業すると神主になります。あと、熱田神宮の研修所、塩釜神社の研修所、伊勢神宮の研修所というものもありまして、そこは2年間ですけども働きながらええ検査を積んで2年間で資格を取れると言うのもございます。で、我々あの神社本庁というところから全部主格・位も頂いてあるんですけども、実は神主さんにも位がありまして、どこで見分けられるのかなっていうのはあまり知られてないんですけども、実は袴の色ですね。神主さんが入っている袴の色で暗いのが分かります。今日、私は道中袴なので普段の袴つけてこなかったんですけども、まず一番入って見習いのときは白い袴です。出仕という役職になるんですけども、白い袴になります。で、次に位が上がりますとと水色の袴になります。浅葱色っていうんですけども、水色の袴で次はですね、紫の袴になります。十勝関連の大体宮司されている方は年配の方ですと大体紫の袴をつけていらっしゃると思います。更に

そこから位が上がりますと紫の袴に紫の門がつきます。さらに上がりますと、紫の袴に白い門がつきます。北海道神宮とか、大きいところのええ長年務められている宮司さんとかはそういった紫の袴に白いものが付き、最後一番位の高い袴っていうのがありまして、それはまた白に戻ります。白い袴にこの白い門がつく。ということで、袴の色で実は神主さんの位ですね。そういうのが分けられております。あとですね。神主の役職なんですけども、神主さんと呼んだらいいのか宮司さんと呼んだらいいのか色々何と呼んだらいいんですか？っていうのも質問よく聞きます。で、我々はですね。まあお坊さんは僧侶と言ひ方をしますけれども、僧侶っていう言ひ方に対してはですね。神職と言ひ方をします。これはいろいろな役職があつて、みんな神主をやっている人たちのことを、そのまとめて神職と言ひます。神主という言ひ方もあります。まあ、神職というものでございます。で、その中でよく宮司・宮司っていう言葉が出てきますけども、宮司は会社でいう社長でございます。宗教法人で言えば、代表役員にあたる立場でございます。宮司っていうのは各お宮に、一人だけです。で、これが一番責任者ということで齋場を取り仕切ります。次にですね、大きい神社になりますと宮司さんの下に権宮司っていうのがいらっしゃいます。北海道神社には権宮司がいらっしゃいます。で、副社長っていうような立場です。その下にはですね、禰宜っていうのがいます。で禰宜っていうのはまあ、会社で言えば専務というような立場で責任業務のですね。責任祭事の業務の責任を負うような立場ということで、禰宜というのがいらっしゃいます。で、その下にええ、一般の職員としましては権禰宜っていうのがありますから宮司・権宮司・禰宜・権禰宜っていうのは役職で神社はしております。ええ、田舎の方の神社ですねたいいてい親子でやったりする場合がありますから父親が宮司、息子が禰宜で代が変われば、また禰宜が宮司になってというような形で行っております。で、神職っていう呼び方をされるよりはですね。ええ役職がもしわかっているようでしたら、まあ宮司とか禰宜とかいうふうに役職で読んでいただけるとよろしいかと思います。そこで早速ですけどもええ本題に入らせていただきます。

今日はですね。「暮らしの中にある神道の教え」ということでお話をさせていただきます。

最初ですね、神道の語句についてということなんですけども、これはいつから神道・神道っていう風になつたかと言ひますと、それがはじめて出てくるのが日本書紀でございます。養老4年(720年)、今から1300年前に書かれています。この日本書紀には「天皇、仏法を信じ、神道を尊ぶ。」と書かれています。ここで書かれた神道という言葉なんですけれどもその時代にみんなが神道神道っていう風に使っていたかという、そうではなくて神道そのものがですね宗教というよりも日本人の生活そのものという認識でしたので、まあ仏法が入ってきて、それを区別するために神道と言ひ言葉を用いたのが始まりと言ひられております。これが元でだいたいこう神道神道ということで、皆さんに広まっています。次に神道の教えについてなんですが、よく言われるのはですね神道には教義や教典っていうのはございません。まあ、創始者がたいいてい宗教にはいらっしゃいまして、それに明確に定められた教義・教典があるんですけども、例えば仏教で言えば経典ですね、お経ですね。キリスト教に言えば聖書、イスラム教で言えばコーランというものがある、教義教典ということになってくるんですけども、神道はそういうものが残っておりません。ただですね古事記・日本書紀に神話が描かれておりまして、それに由来して、いろいろな神様が祀られております。で、この古事記・日本書紀にはたくさん神様が書かれております。で、これ、古事記を参照にしたものなんですけれども、ちょっと神様の名前をあげさせていただきます。で、これはですね。天皇家とつながる歴代の神様になっております。一番初めにあらわれる神様は、「アメノミナカヌシノカミ」という神様で、古事記の冒頭に書かれております。ええ始まりの神様・宇宙の根源ともされております。ただですね、古事記には現れたっていう



ことで、すぐお隠れになったということしか書いておりませんので非常に謎が多いということで全国にも祀られている神社はわずかです。ただですね、釧路町にこのアメノミナカヌシノカミ様を祀った神社がございます。

非常に最高神、力の強い神様として信仰されておられて、何年か前に長者番付ですごく有名な斎藤一人さんという方もアメノミナカヌシノカミ様を崇拝されるっているということもネット上でも話題になっておりました。

その後「タカミムスビノカミ」、「カムムスビノカミ」ということで、だんだん神様が連なっていきます。

最初に現れた神様をコトアマツカミと言って、この五柱は特別な神様として祀られます。その後の「クニトコタチニカミ」様から神世七代という七代の神様が現れます。七代なんですけど、これセットになっているものもあります。この中で「イザナギ」「イザナミ」は皆さんご存知だと思いますけども、初めてのご夫婦の神様ということ。その上です。ね「オモダルノカミ」「アヤカシコネノカミ」これはですね、男女ではなくて対と言うことですので、初めて男女の夫婦になったのは、この「イザナギカミ」「イザナミカミ」ですね。こちらが初めて夫婦として結婚されて生まれたのが「アマテラスオオミカミ」ということ。こちら天照大神が皆様ご存知ですけども、太陽神ということで、日本の総氏神として信仰されておられます。伊勢神宮の御祭神でもありますし、皆さんがお待ちしております。神棚のお神札、神宮タイマつというのも天照大御神も伊勢神宮のお札になっておられます。その後、ずっと神様が連なっていきますけれども、古事記には実は267柱の神様が登場します。その中のほとんどが自然物であったり、自然現象であります。例えば木は「クノチノカミ」、土はですね「ハニヤスヒメノカミ」とかいうのが居たり、水は「ミズハノメノカミ」、風は「シナツヒコノカミ」とかですね、山は「オオヤマヅツミノカミ」、雷これは「ヤクサノイカズチノカミ」とか、そういうふうにしてすべて自然そのものに神様が宿っているという考えで、この神様がすべて古事記日本書紀に書かれておられます。で、ヤオヨロズの神様って聞いたことがあると思いますけども八百万と書いてヤオヨロズと言います。本当に数えきれない神様がいると言う表現です。で、自然豊かな国土で暮らす日本人の日常生活の中から自然に生まれた共同の信仰ということでございます。ええその神道の教えと言いますかね？分かり易く書いてあるのがですね神道大意こちら若林強齋という方の書いた書物で、江戸時代中期の神道家ですけども、ちょっと読みますが「何に付角付、触るる処、まはるる処、あれあそこに在りますと、戴き奉り、崇めたてまつりて、やれ大事とおそれつつしむが神道にて」うんぬんかんぬんと書かれておられます。つまりですねえ。あちこちに神様がいらっしやって、それを有難く崇めてそれを大事にしなが、怖れつつしみながら神様を敬って行くと言うのが神道ですよという考えです。

我々はこういうことをしたから神様に、あーしてくださいというふうに願ってしまいがちですけども、そもそもの始まりは、まあ万物いろいろなところに神様がいらっしやって、そこにお金を頂いている、ありがたいと言う風に恐れ謹んで生活するのは神道の教えですよということ。で、その教えというのは我々が祭事しますお祀りあの一読みます祝詞にも決まってこういうふうにかかれておられます。皆さん、祭事とか参列したことがあろうかと思いますが、神主さんがよく「掛けまくも畏き〇〇大神の大前に恐み恐みも白く〜最後は恐

み恐みも白す」という風に祝詞が終わるんですけども、どういう意味かといいますと「掛けまくも畏き」というのは言葉にけるのにも恐れ多いことなんですけどもという意味です。で、神様をお願いをする、どういう形をお願いしてきたかという、本当に言葉にけるのにもそれ多いことなんですけども「恐み恐みも白す」というのは、何々の神様の前で恐み恐みこれ二回言ってます本当に恐れ謹んで恐れ謹んで申し上げますと言うことで願ひ事が始まります。祝詞です。ね始めにこの文から始まって神様をまず称える文章が書かれます。で最後に願ひ事を書いて最後にまたですね「かしこみかしこみ」これも怖れ謹んでさらに恐れ謹んで二回ゆつて申し上げますと言うことで非常にですねこの自然神々に対しての畏敬の念ですね、あと祈り感謝、こういった意味で神道というのは祭られてきております。ええ、日常の暮らしや年中行事を通じて継承してきたのが神道でございます。よく有名なのが今月、10月、神無月という言い方するんですけども、出雲では神在月（かみありづき）といいます。出雲大社では神在祭という祭りが斎行されてまして全国から神様が集まります。伊勢神宮では神嘗祭という新穀の供えするお祭りが行われます。で、「神無月」の無というのは「ない」という意味ではなくてですね「満ちる」という意味です。よくミナズキというのは水がなつていうのは水が満ちる、6月は田んぼに水がいっぱい一面田んぼに水が張られるので、水の月とも言われて水が溢れる月、水が満ちる月で水無月（ミナズキ）というふうになっておる。同じようにですね神無月っていうのはいつもに神様が行ってしまうのではなくまあ、出雲にも神様を結集しますけども、神様の力がみなぎる月ということで神無月というふうな言い方をしております。で、暮らしの中でですね、一番神道で大事にしているのはお米です。お米と神道についてお話をさせて頂きたいと思ひます。お稲荷さんの話なんですけども、お稲荷さんっていうのは、実は稲霊の神様・食物の神様です「ウカノミタマノオオカミ」といいます。命の根で稲っていうことで稲の神様です。狐はお使いということでお祀りされておられます。で、稲からお米へと言うことで、稲はですね最後、稲から最後お米と言う形になります。名前がですね、これは神様の霊力と我々の祈り、念がこめられるから、こめられるでお米という言葉になっておられます。主食であるお米を食べるときにもですね。こういった神様の霊力、我々の祈りを感じながら食べることによって、そこに神道の教えが盛り込まれておられます。あとですね祈年祭、伊勢神宮のお祭りですね。こちら祈年祭というお祭りは2月11日、これは全国の春祭りに当たるこれも五穀の豊穰祈るお祭り、で、神嘗祭これは今月ですけども新穀に感謝をするお祭りということで伊勢神宮のこの祈年祭神嘗祭っていうのがお米にとつてとても大事なお祭りとされておられます。

あと、宮中のお祭りとしましては新嘗祭です、こちらは新穀を神々に天皇みずからお供えして召し上がる儀式として行われます。こちら天皇が即位して初めて行われる新嘗祭令和元年にも行われましたが大嘗祭という祭りでとてもこの稲に新穀に関するお祭りっていうのは日本じゃすごく大事にされてきました。で、新嘗祭の日は勤労感謝の日っていうことなので祝日になっているが本来はお米の収穫を祝う祝日とされておりました。

あ！すいません。途中でですけど時間になってしまいました。今日は貴重な時間どうも有難うございました。

■ 次週のプログラム予定

「ガバナー補佐公式訪問」

■ 閉会宣言

■ 点鐘

木戸 辰浩 会長

例会案内

- 〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
- 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
- 〈火曜日〉 芽室RC:めむろーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
- 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■ 出席報告 / 窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	マークアップ	欠 席	出席率
62	56	32			51.61%